

TOP MESSAGE



代表取締役社長

山口 博章

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、日頃より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社は2024年9月30日をもって、第79期(2024年4月1日から2025年3月31日まで)事業年度の第2四半期(中間期)を終了いたしましたので、ここに事業の概況をご報告申し上げます。

事業の経過およびその成果

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境が改善する下で、個人消費や設備投資および企業収益は持ち直しの動きがみられ、景気は概ね緩やかな回復基調が続きました。その一方で、物価上昇、欧米における高い金利水準の継続、中東地域における紛争の長期化等、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループは顧客満足を徹底的に追求するとともに、全社をあげてイノベーション活動に取り組み、業績向上に努めてまいりました。

その結果、当中間連結会計期間の売上高は、青果物向け段ボール製品・パルプモールド製品および国内合成樹脂向け重包装袋製品の数量減はありましたが、各製品における販売価格修正効果に加え、海外重包装袋の販売数量回復、事務機器用パルプモールドトレイおよびキャストフィルムの拡販等により、114億40百万円(前年同期比5.8%増)と増収となりました。また、営業利益は3億86百万円(前年同期比31.8%減)、経常利益は4億69百万円(前年同期比34.6%減)、親会社株主に帰属する中間純利益は4億44百万円(前年同期比27.0%減)となりました。減益の主な要因は、人件費や減価償却費等の増加および為替差損によるものであります。

なお、配当金額につきましては、中間配当金額は1株につき32円、2025年3月期の期末配当につきましては16円(株式分割前換算32円)を予想しております。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援ご鞭撻を賜りますよう、お願い申し上げます。

連結業績ハイライト (2025年3月期 中間)

売上高 **11,440**百万円 (前年同期比 5.8%増)営業利益 **386**百万円 (前年同期比 31.8%減)経常利益 **469**百万円 (前年同期比 34.6%減)中間純利益 **444**百万円 (前年同期比 27.0%減)

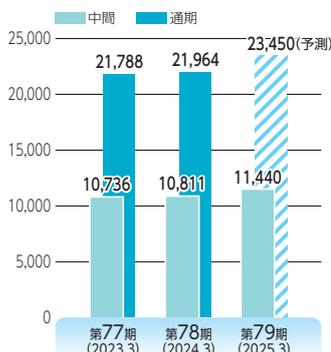
中間決算のポイント

売上高につきましては、各製品における販売価格修正効果に加え、海外重包装袋の販売数量回復、事務機器用パルプモールドトレイおよびキャストフィルムの拡販等により増収となりました。

利益につきましては、人件費や減価償却費等の増加および為替差損により減益となりました。

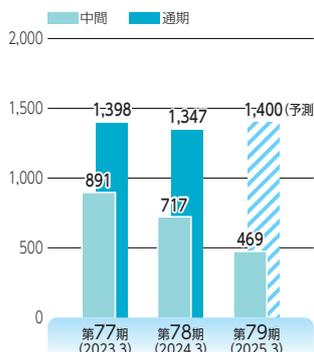
売上高

(百万円)



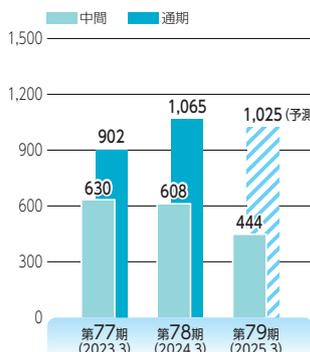
経常利益

(百万円)



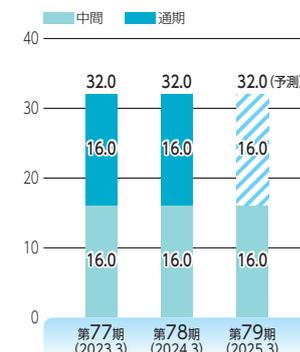
中間純利益

(百万円)



1株当たり配当金

(円)



(注) 当社は、2024年10月1日付で普通株式1株につき、2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり配当金のグラフは第77期の期首に当該株式分割が行われたと仮定して表示しております。

緩衝機能材事業 売上高 **53億52**百万円包装機能材事業 売上高 **59億6**百万円

営業の概況

パルプモールド部門は、青果物用トレーが今夏の猛暑の影響で販売減となりましたが、事務機器用トレーの新製品投入により販売数量増となったこと、および販売価格の修正により増収となり、パルプモールド部門の売上高は32億45百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

段ボール部門は、工業分野向けが増販となりましたが、パルプモールド部門同様今夏の猛暑の影響で農業分野向けの販売数量減により、売上高は15億27百万円(前年同期比0.1%減)となりました。

成型部門は、売上高は樹脂成型品と宙吊り式包装容器(ゆりかご)をあわせて5億79百万円(前年同期比0.5%減)となりました。

その結果、**当事業**の売上高は53億52百万円(前年同期比4.0%増)となり、セグメント利益は3億88百万円(前年同期比22.6%減)となりました。減益の主な要因は、人件費の増加、減価償却費の増加、燃料価格の上昇等によるものであります。

営業の概況

フィルム部門は、食品容器用ポリスチレンフィルムの販売数量は微減となりましたが、工業用キャストフィルムの増販、および原材料価格の値上がりに伴う販売価格の修正により、売上高は23億50百万円(前年同期比6.3%増)となりました。

重包装袋部門は、国内は、製粉向け、および飼料向けは増販となりましたが、合成樹脂向け販売数量が大幅に減少したことにより減収となりました。海外は、食品向け的大幅増、および合成樹脂向けの販売回復により増収となり、重包装袋部門の売上高は35億56百万円(前年同期比7.9%増)となりました。

その結果、**当事業**の売上高は59億6百万円(前年同期比7.3%増)となり、セグメント利益は、ほぼ前年並の4億38百万円(前年同期比1.0%減)となりました。

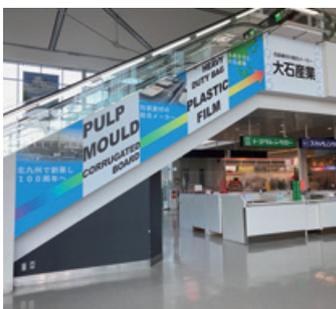
TOPICS

【北九州空港ターミナルビルへの広告掲示開始】

2024年4月1日より、北九州空港ターミナルビル1階エスカレーター壁面に当社広告を掲示しました。

広告デザインは社員が手掛けたものであり、1925年の創業から100周年となる2025年、さらに未来に向かって成長していく様を、写真と一本の矢印をあわせることで表現しています。北九州空港をご利用の際はぜひ御覧ください。

今後も100周年に向けた積極的な広報活動を実施し、知名度向上を目指してまいります。



【FUSIONS TRADING MALAYSIA SDN. BHD.設立のお知らせ】

2024年8月、マレーシア国ジョホール州において当社100%出資子会社、FUSIONS TRADING MALAYSIA SDN. BHD.を設立予定であることを発表いたしました。

本会社は、マレーシア国における日本の高品質な農産物や食品等の輸入販売を事業内容としています。当社グループ会社では初となる輸入販売事業への進出であり、当社の長年の現地における事業経験や食品容器に関するネットワークを活かしつつ、当社グループ事業を支える大きな柱へと成長させていく所存です。

今後もより一層の業績拡大を目指し、積極的な事業展開を図ってまいります。



会社の概要 (2024年9月30日現在)

商号	大石産業株式会社 OHISHI SANGYO CO.,LTD.
本社所在地	北九州市八幡東区桃園二丁目7番1号
設立	1947年2月3日
資本金	4億6,640万円
営業拠点	北海道／青森／茨城／埼玉／東京／大阪／福岡／大分／長崎／熊本／マレーシア
工場	青森、茨城、埼玉、福岡(小倉、鞍手、直方)、マレーシア
従業員数	364名(グループ599名)
連結子会社	株式会社アクシス CORE PAX(M) SDN. BHD. ENCORE LAMI SDN. BHD. 柳沢製袋株式会社 FUSIONS TRADING MALAYSIA SDN. BHD.

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	3月31日
中間配当基準日	9月30日
公告掲載方法	電子公告制度により行います。 公告掲載URL https://www.osk.co.jp/ (ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います)
上場証券取引所	東京、福岡
株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号 日本証券代行株式会社
同事務取扱場所	福岡市中央区天神二丁目14番2号 日本証券代行株式会社 福岡支店
郵便物送付先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
お問合せ先	日本証券代行株式会社 代理人部 電話 ☎0120-707-843

株主名簿管理人の変更について

当社の株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関である日本証券代行株式会社は、三井住友信託銀行株式会社と2025年1月1日をもって合併いたします。これに伴い、同日以降、当社の株主名簿管理人および特別口座の管理機関は次のとおり変更となります。なお、2025年1月1日から5日までは、三井住友信託銀行の休業日につき、実際のお取扱いは2025年1月6日(月)からとなります。

株主名簿管理人および特別口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社	郵便物送付先	〒168-8620 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
同事務取扱場所	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部	お問合せ先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 ☎0120-707-843